

令和4年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
1 芸術・文化のまちづくり事業							
1	麻生音楽祭開催事業	3,000,000	2,681,949	地域振興課	「芸術・文化のまち麻生」の一翼を担う事業として、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、相互の交流を図りながら互いに学び合うという精神を生かすとともに、日頃の活動の成果を披露するコンサートを開催することにより、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図ります。	・6月25日スクールコンサート、6月26日かなでようあさおの響き、7月3日アンサンブルのつとい、7月9日ポピュラーミュージックショー、7月10日、ファミリーコンサート、7月17日コーラスのつとい 計6日間開催 ・パナーフラッグ、柱巻き広告掲出やチラシ等の広報活動を通じ、「芸術・文化のまち麻生」を多くの市民にPRしました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スクールコンサート・かなでようあさおの響きは無観客開催とし、その他の全コンサートにおいても事前申込・座席指定制とため参加者は減少しました。出演者についても舞台上の定員を制限したことから減少したが、感染症対策に万全を期し、安全・安心を確保しながら事業を実施することができました。	市民が参加している企画・運営を行う麻生音楽祭は、芸術・文化のまちづくりを推進するために柱となっている事業です。今年度は3年ぶりに6つのコンサートすべてを開催することができました。次年度も引き続き、改善や工夫を図り、芸術・文化のまちのシンボル事業として継続していきます。
2	あさお観光資源の魅力紹介事業	798,000	798,000	地域振興課	観光ガイドブックの配布、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	観光写真コンクールに歴代最高の343点の作品応募があり、入賞作品を区内各所に展示、区の配布物に掲載、また応募作品を公式ホームページで公開して魅力発信を行いました。禅寺丸柿もぎ・芋掘り体験(定員30名、申込241名)、禅寺丸柿に関するパネル展示、かきまろくんグッズ(除菌ウェットティッシュ500点)の製作・配布、観光ガイドブックの配布を行い、麻生区の地域資源の魅力を発信し、地域のイメージアップを図りました。	引き続き、禅寺丸柿をはじめとした貴重な地域資源を活用するとともに、新百合ヶ丘・黒川エリアをはじめとした豊富な観光資源をPRし、区のイメージアップや地域の活性化に資するため、継続して取り組んでいきます。
3	野外上映会開催事業	996,000	995,372	地域振興課	自然豊かで芸術・文化の香り漂い、故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」、「芸術・文化のまち麻生」を提供します。さらには、夏の終わりに家族と過ごす思い出作りの場を提供します。	・8月20日に、周辺町会や学校の理解・協力を得て百合丘小学校で開催 ・上映前に、KAWASAKIしんゆり映画祭ジュニア制作ワークショップで制作した作品の上映等を実施 ・上映会当日は事前から降雨が予想されたが、感染症対策のため屋内での実施は行わず、雨天(少雨)決行となったことから、来場者が減少しました。上映途中から雨量が増加したが、校舎の庇に退避して鑑賞する来場者も多くみられ、最後まで上映することができました。	芸術・文化を通じた地域住民の交流や地域資源を活かした芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げていくため、地域団体等とのさらなる連携や上映前イベントの充実、効果的な広報について検討します。
4	ふるさとあさお再発見事業	363,000	353,036	地域振興課	麻生区の豊かな自然の中で育まれた野菜・七草を用いて、「古風」のゆえんである焼いたお餅を加えたお粥を振る舞い、地域に伝わる伝統・伝承文化などを区民に広く紹介します。	区内で収穫した七草など地元産の食材を使い、区内で焼かれた炭を使った焼き餅を入れた七草粥1000食を提供した他、地域のお囃子保存会によるお囃子・獅子舞、童謡をうたう会による童謡、カルタとり、風揚げなどのお正月遊び体験を実施し、参加者が「ふるさとあさお」を体感できる事業となりました。開催情報が各社新聞、地域情報紙に取り上げられ、区内外の多くの方が「ふるさとあさお」を知る・感じる機会となりました。	協働団体と連携し、事業に対するニーズに合わせて、より魅力ある事業となるよう適宜役割分担等を見直しながら、継続して取り組みます。
5	イメージアップ推進事業	1,512,000	1,411,180	企画課			
	懸垂幕作成業務			地域振興課	麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出するとともに、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広報物を設置することで広く地域住民にPRをします。	・「麻生音楽祭」(5～6月)、「あさお芸術のまちコンサート 秋空のハーモニー」(7～8月)の柱巻き広告物の掲示、「アルテリッカしんゆり」懸垂幕の掲出(4～5月) ・第35回世界バトントワリング選手権大会優勝祝 懸垂幕の作製(10月) ・UNICON 一輪車ソロ部門優勝祝 懸垂幕の作製(10月) ・日本U9U12フロアボール大会2023 U12の部優勝祝 懸垂幕の作製(3月) ・桐光学園高等学校男子バスケットボール部・サッカー部全国大会出場懸垂幕の掲出、檄布の作製(11月)	柱巻き広報物の広報効果は高く、次年度も継続して事業を実施しますが、新百合ヶ丘駅周辺のエリアマネジメントの動向も踏まえながら、並行してより効果的な広報手段の検討が必要であると考えられます。
	新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業			企画課	「kirara@アートしんゆり」を区の共催事業とし、イベント開催に係る支援を行います。	11月19日から2月14日で行われたkirara@アートしんゆりの広報支援等を実施	麻生区の主要な取組である「芸術・文化のまちづくりの推進」に向けて、公民協働によるイベントを実施して地域を活性化し、区の魅力をPRすることが求められているため、本事業を継続して実施していきます。
6	あさお芸術のまちコンサート事業	2,705,000	2,705,000	地域振興課	区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進します。	・9月4日 秋空のハーモニー(麻生市民館ホール) ・11月20日 ユニヴァーサル、あさおバラアート展同時開催(新百合トウエンティワンホール) ・12月25日 区内ホールコンサート(田園調布学園大学なでしこホール) ・2月19日 劇団民藝コラボコンサート(「カフェ・グランデ あさお」内のステージプログラムとして実施) ・区役所ロビーコンサート出張版(3回)の企画・運営協力	地域の音楽家との連携・協力や、音楽を通じた他の芸術・文化団体との交流により、引き続き、芸術・文化のまちづくりを区全域に広げ、誰もが芸術・文化活動に親しむことができる環境づくりを進めます。
7	しんゆり・芸術のまち推進事業	5,691,000	5,532,828	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により、活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果を追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」の取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指します。	・「あさお芸術・文化交流カフェ」(7月26日、3月16日)の開催、「カフェ・グランデ あさお」(2月19日)の開催 ・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルでの柱巻き広報物の掲示(アルテリッカ: R4.4-5、しんゆり映画祭: R4.10-11) ・アルテリッカしんゆりやしんゆりステーションピアノ、kirara@アートしんゆり、しんゆりフェスティバル・マルシェに関する支援 ・「芸術・文化施設 バリアフリーマップ」の情報更新 ・「しんゆり・芸術のまち」HPやSNSによる情報発信、HP及び「しんゆりアートナビ」の改良・周知	区内の芸術・文化資源を生かした地域活性化及び地域ブランド力の向上に向けて、引き続き効率的・効果的な運営体制及び実施手法の検討を進めます。
8	区制40周年記念事業費	2,000,000	2,000,000	企画課	令和4年に区制40周年を迎えることから、麻生区の魅力を再発見し誇りと愛着を高め、区民がともに未来を見据えたまちづくりを考えることを目的に、記念事業等を実施します。	式典や区民まつり・マルシェの同時開催などの特別企画の他、記念事業としてアーカイブ写真の収集や屋外絵画展など8つの事業を企画し、実行委員会に参画している団体からの協賛金も得て実施することができました。冠事業も131事業行われ、多くの区民が40周年記念事業に関わりました。また、「麻生区を語る座談会」も実施し、11の記念事業を実施しました。	周年事業であるため事業終了となりますが、これらの取組や成果を市制100周年・区制50周年につなげていきます。

令和4年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
-----	-----	----------	--------	-----	------	----	--------

2 農と環境を活かしたまちづくり事業

9	あさお花いっぱい推進事業	942,000	956,586	地域振興課	区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的とし、公共的空間にある花壇等を自主的かつ継続的に管理している団体に花苗等を提供して支援します。	既存の団体に通知する他、ホームページ、タウン紙等で支援を必要とする美化活動団体を募りました。申請のあった22団体(内新規2団体)に花苗等を支援し、地域の環境美化向上及び地域コミュニティの推進につなげました。	地域に根差したコミュニティ活動の発展、地域の環境美化に対する意識の向上を達成するため、当事業による美化活動団体への支援は重要であり、社会情勢に応じ見直しを行いながら、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。
10	麻生里地・里山保全推進事業	844,000	844,000	生涯学習支援課	麻生区及びその周辺の里地・里山などで活動している各団体や個人のネットワークを構築し、身近な自然環境に親しみ、里地里山の自然や歴史、文化を守り育てる市民ボランティアの育成を図ります。また、より多くの市民や関係機関の理解を得て、里地里山の保全に向けた取組を推進するとともに、自然と調和したまちづくりや地球温暖化の防止に配慮した行動を促す中で、広範な市民の環境保全、地球温暖化の防止に対する意識の向上を図ります。	7月から12月に里地・里山カフェ塾、10月から12月にあさお里山こどもクラブ、2月から3月に里地里山ナチュラリスト養成講座を継続実施しました。また、万福寺人参品評会及び里山フォーラムでは、区内の小学生や大学生の参加があり、風景写真展の開催、里地・里山だよりの発行等により、自然とともにある貴重な文化の継承につながりました。	担い手の高齢化が進む一方で、コロナ禍を契機として、区民を中心に身近な里地・里山や自然に対する関心が大きくなっていると考えられます。今後、次世代の担い手獲得につながるような事業を実施していきます。
11	ヤマユリ植栽普及促進事業	320,000	320,000	地域振興課	区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携しながら、消えつつあるヤマユリの植栽活動を支援するとともに、植栽ノウハウの蓄積・普及を促進します。	・地域の公園愛護会と連携したヤマユリ植栽地の観察・管理活動(6植栽地)と植栽支援(4か所) ・ヤマユリ開花展示会の開催(7月1日～6日)、ヤマユリ写真展の開催(9月9日～14日) ・ヤマユリ植え替え講習会(11月17日) ・ヤマユリ育苗講習会(3月23日)	区民の関心が引き続き高い区の花ヤマユリの植栽・普及活動は、団体との協働により今後も継続して実施していく必要がありますが、今後も新たな担い手の確保に向けて、作業内容の整理や、効果的な広報の実施等を検討していく必要があると考えられます。
12	麻生区SDGs推進事業	443,000	226,057	企画課	区民一人一人が取り組める身近なエコ活動の啓発等を通じ、区民や市民活動団体等との協働による「SDGsの目標達成」に向けた取組を推進します。	自然エネルギーの活用促進や地球温暖化防止に向けて、講演会「気候危機みんなが知れば必ず変わる!」、夏休み環境イベント、講演会「気候危機の中2030年に向けてできること」などを開催しました。区民の積極的な参加を促す大規模な取組が難しい中で、区民のイベント参加により着実に意識醸成を図りました。	SDGsの目標達成のため、多様な主体と連携した取組を進める必要があることから、引き続き現状のまま継続していくことが必要です。
13	農と環境を活かした連携事業	3,241,000	3,410,000	企画課	区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源(早野・黒川・岡上の農業振興地域、明治大学黒川農場)や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進します。	・黒川地域連携協議会(年1回)、地域活性化専門部会(年2回)については、検討組織の見直しなどにより実施できませんでした。個別に関係者と密に連絡調整を行い、関係者相互の理解を促進しました。 ・農業者や大学など地域と連携し、野菜の収穫体験や料理教室のイベント(1回)を開催しました。 ・岡上地域の関係者にヒアリングを行うなど、地域活性化に向けた検討を行いました。	令和3年度に実施した黒川地域における基本計画の見直しを行いました。引き続き協議会及び専門部会の効率的な運営体制を見直すことで、効率的かつ効果的に農と環境に関する事業運営を継続することが適切であると考えます。

3 すこやか・支え合いまちづくり事業

14	多様な主体との連携事業	2,364,000	1,958,590	地域ケア推進課	福祉関係団体、施設等の紹介・体験学習・発表の場として、あさお福祉まつりを開催します。また、地域で高齢者を見守る体制を構築し、安心して生活できる地域づくりを目指します。	●あさお福祉まつり ・11月13日に開催し、54団体の参加と4,000人の来場者がありました。 ・福祉関係団体、ボランティアグループ等にとっては、貴重な交流の場となり、参加した多数の区民にとっては、福祉に触れ関心を持つ場となりました。 ●高齢者見守りネットワーク ・令和4年度第1回安心見守りネット情報交換会8月31日実施(出席者46名) ・令和4年度第2回安心見守りネット情報交換会2月20日実施(オンライン開催・参加者25名)	一部新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、関係機関等と連携を行い、各事業一定程度の効果がありました。 今後とも見直し・改善をしながら継続することが適切であると考えられます。
15	地域包括ケアシステム推進事業	1,417,000	289,362	地域ケア推進課	地域包括ケアシステムの推進を目的として地域活動の活性化や多世代交流等を促進し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを行います。	・ちいきのちからシートを3回実施 ・地区カルテの更新を実施 ・7月から8月の4日間で健康づくりボランティア養成講座を開催 ・11月16日、地域で活動するボランティア対象にボランティアフォロー講座を開催 ・11月、12月、1月に高齢期・成長期の若の健康、身体をつくる食生活をテーマに講演会を開催 ・区内で活動するボランティア団体や自主グループ10団体に健康体操CD等を46枚配布 ・民生委員が担当エリアで新規茶話会や区内2か所の公園で健康体操の会を立ち上げるため、その準備・継続に向けた支援を実施 ・地域包括ケアシステム講演会及び感染症講演会を実施 ・地域の活動について市政だよりの特集で広報を実施	今後も地域包括ケアシステムの推進が必要とされており、地域の実情に合わせながら、事業の見直し、改善を行い継続していきます。

4 安全・安心まちづくり事業

16	麻生区安全・安心まちづくり事業	1,887,000	1,849,486	危機管理担当	・社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民・地域団体・事業者・行政機関等の連携及び協働により、区民が安全かつ安心して暮らせるまちづくりを進めます。 ・死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上を目的に、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶ「スケアードストレート教育」を実施します。 ・依然多く発生している高齢者が関わる交通事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通安全知識・技術を習得する「シルバードライビングスクール」を実施します。	・スポーツ防犯教室の実施(10月23日長沢小学校、11月13日東柿生小学校) ・スケアードストレート教育の実施(10月24日県立麻生総合高校、11月24日西生田中学校、12月9日県立麻生高校) ・シルバードライビングスクールの実施(10月26日) ・麻生セーフティメールの配信(117件)	今後についても、事業ニーズがあるため、安全・安心のより効果的な確保に向けて、各時点での状況に即した方向性を模索・検討等しながら事業継続を行っていきます。
17	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	873,000	660,000	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行します。配布方法は、転入者に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布します。転入者に知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙防止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧などの防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生区の各種情報を盛り込んだものとします。	・3月、麻生区ガイドマップの改訂・発行(13,000部) ・麻生区ホームページ用の地図データ、新百合ヶ丘駅周辺図データの作成、公開	多様な転入者の様々なニーズに応えられるよう、マルチデバイス化や多言語化の推進を図りながら、今後も継続して事業を実施します。

令和4年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
18	麻生落書き消し事業	100,000	98,627	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び柿生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止を目指します。また、町内会や地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	1月21日：新百合ヶ丘駅周辺（一般参加者、企業等が参加した落書き消し） 3月11日：尻手黒川道路、津久井道ほか（一般参加者、企業等が参加した落書き消し）	これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きは減少しておりますが、引き続き地域の美化・犯罪防止や地域コミュニティの活性化に向けて事業を継続する必要があります。今後も地域団体等と連携を深め、参加者を募りながら落書き消しの普及啓発活動を一層促進していきます。
19	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	73,000	72,892	危機管理担当	交通災害や犯罪に巻き込まれない事を目的に、平成23年度から小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作製しています。事業を開始した平成23年度から3年ごとに改訂を行い、改訂年度は1年生から3年生まで、それ以外の年度は4月に入学する新1年生に必要部数を増刷修正し配布しています。	令和4年度も令和2年度に改訂したマップを基に麻生区交通安全母の会と連携し、区内の危険箇所等を確認の上、小学校区ごとに児童数分印刷し、令和5年3月に各小学校に配布しました。	来年度に改訂が行われます。地域における交通事故や犯罪の懸念が依然として見受けられることから、今後も関係機関・団体と連携の上、有効な情報を反映させたマップを作製し、効果的な活用により安全・安心の確保ができるよう取り組んでいきます。
20	地域防災力の向上事業	3,801,000	3,137,881	危機管理担当	災害時の対応においては自助・共助の取組が重要であることから、効果的な啓発を通じて区民の防災意識の醸成を図るとともに、より実践的な内容を主眼とした区総合防災訓練の実施、避難所運営会議や自主防災組織に対する支援や、企業・関係団体等との連携を通じ、地域が一体となった災害対応の充実を図ります。併せて、区災害対策本部体制の強化に向けて、研修・訓練を通じ、職員の防災意識・スキルの向上を図ることで、地域防災力の向上を目指します。	・楽しみながら防災知識の習得と意識の醸成を目的とした「区民防災塾」を2回開催し、自助の強化を図りました。 ・訓練の手順等を解説する防災啓発動画を作成してYouTubelにアップする等、共助の取組を促す啓発を行いました。 ・新たに作成した「各班の事務分掌マニュアル」を基に区本部開設訓練を実施する等、区本部体制の強化を図りました。 ・自主防災組織に対する訓練等への支援や避難所運営会議の運営支援を行い、地域防災力の向上に努めました。	自助、共助、公助それぞれの分野における取組は一定の成果を上げていると考えますが、限られた資源や人員を効果的に使えるよう、民間活用等も含めて検討し、より効果的かつ実践的な手法の検討・実施を進めていきます。

5 総合的な子ども・子育て支援事業

21	子育て支援・企画事業	2,776,000	2,268,824	地域ケア推進課	子育て支援情報の発信、子育てグループ等の支援、地域人材や企業を活用した子育て支援など区の状況に合った子ども・子育て支援を推進します。	・麻生区子ども関連ネットワーク会議の全体会（3回）、委員向け研修（2回）実施 ・子育てサークル等交流会を実施（参加者10名） ・子育て人材バンク事業の実施（ボランティア派遣69件、83人） ・イオン連携事業 幼児作品展・食育展示を実施 ・あさお子育てフェスタの開催 従来の区役所・市民館での実施に加え、新たに図書館との連携、「しんゆりフェスティバル・マルシェ」へのブース出展、新百合トウェンティワンビルでの作品展示を実施 ・子育て情報誌「きゅっとハグあさお」（5,600部）、「ちびっこおでかけMAP」（11,000部）を発行 ・HP等にて、子育て関係施設の情報を発信（毎月更新）	地域ぐるみで子育ての支援が行えるよう、地域の実情に合わせて手法等の見直し、改善をしながら事業を継続していきます。
22	こども関連大学連携事業	2,100,000	638,914	地域ケア推進課	「麻生区・6大学 公学協働ネットワーク」を活用した大学との連携を通して、各種講座、体験学習や文化事業などの子ども・子育て支援を推進します。	・昭和音楽大学との連携事業（吹奏楽団ファミリー定期演奏会実施・交流コンサート実施） ・和光大学との連携事業（ファミリー体験学習in鶴見川実施） ・田園調布学園大学との連携事業（キッズアート田園 2回実施・けろける田園チャイルド 2回実施） ・日本映画大学との連携事業（新型コロナウイルス感染症の影響により中止） ・明治大学との連携事業（農と環境を活かした連携事業に統合） ・玉川大学との連携事業（赤ちゃん学講座 全3回実施・親子で体験アドベンチャー 玉川大学TAPセンター実施）	大学の方針等を考慮しながら、内容や手法の見直しを行いながら事業を継続していきます。
23	外国籍等こども学習支援事業	652,000	651,570	学校・地域連携担当	外国につながる児童・生徒の学習を地域で支援するため、区内の小・中学校において個別の学習支援や公共施設等を利用したの集団学習支援等を行います。	区内市立学校において、小学生12名(5校)、中学生5名(2校)について、学習支援を、それぞれの在籍している学校に出向き、実施しました。一方、長期休業期間を利用した学習会は新型コロナウイルス状況を踏まえ、令和2年度、令和3年度に引き続き中止しましたが、年間を通じ、各小・中学校と連携し、新しい生活様式に配慮しつつ、日本語を通じた学習理解への支援活動を実施しました。	外国につながる児童・生徒の割合は年々増加し、日本語理解を通じた学習支援へのニーズがさらに高まるが見込まれるため、新たな支援ボランティアの募集、育成や多言語への対応、新しい生活様式を踏まえた支援の方法・内容の検討等が課題となっています。

6 コミュニティづくり事業

24	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	2,805,000	2,379,715	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施します。	・市民活動団体交流イベント（活動団体発表会：2月12日）、人材育成講座（アクティブシニア講座：1月14日～全5回）等の実施 ・「やまゆりニュース」及び「あさおふれんず」発行による市民活動の情報提供、発信 ・市民活動相談窓口の運営（週2回）、麻生市民館ほか相談窓口担当者の交流会実施（3月8日） ・新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成（6団体）	市民主体の中間支援組織が運営する麻生区の市民活動支援の拠点として、今後も「やまゆり」を通じ市民活動支援を継続していく必要があります。さらに、これからのコミュニティ施策における「あさお希望のシナリオプロジェクト」の取組状況を踏まえ、やまゆりの特性を生かした中間支援機能や相乗効果が期待できる有機的連携のあり方について引き続き検討していきます。
25	町内会事業提案制度事業	613,000	591,903	地域振興課	地域の課題の解決に資するため、地域の担い手である町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て当該町内会・自治会と協定書を締結し、麻生区役所と協働して実施します。	「金程スマートタウンプロジェクト」事業（金程町会）、「音楽会実施」事業（新百合ヶ丘レガートブレイス自治会）、「はるひ野緑日（緑むすび日曜日）」事業（はるひ野町内会）、「おもちゃ病院実施」事業（百合ヶ丘勤交会）、「麻団KIZUNAネットワーク」事業（麻生台団地自治会）、「岡上町内 有形民俗文化財への立て札設置」事業（岡上町内会）が提案・実施され、地域の課題解決につながりました。	川崎市町内会・自治会活動応援補助金事業が令和3年7月から開始しているため、事業のあり方の検討が必要です。
26	麻生区地域功労賞事業	33,000	19,741	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰します。	麻生区地域功労賞選考委員会の選考により、個人3名が受賞しました。 あさお区民まつりにおいて表彰式を行い、受賞者については町連だより、地元広報紙などで広報しました。	地域活性化に貢献した個人や団体を表彰し、住民の地域活動への関心と理解を深めることは、地域活動への参加を促進するために必要な事業であることから、幅広い分野から候補者が出るよう募集方法等の検討、見直しを行った上で継続します。
27	麻生区市民活動支援施設活用事業	9,244,000	9,450,569	地域振興課	麻生市民交流館やまゆりについて、市民活動の拠点施設として、市民の主体的な運営参画を実現することにより、市民活動の一層の推進を図ります。	・市民活動の「場」の提供（会議室の平日昼間稼働率：79％） ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用定員の制限等あり	麻生区の市民活動の拠点として、引き続き多くの市民活動団体に活動の「場」「資金」「情報」を提供し、地域人材の育成支援を行います。併せて、建物の老朽化への対応として、修繕計画について検討していく必要があります。また、新たに設置が予定されているソーシャルデザインセンターとの有機的連携のあり方についても引き続き検討していきます。

令和4年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
28	麻生区多文化共生推進事業	340,000	152,838	生涯学習支援課	多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対しても興味が持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現をめざします。	・9月17日子育てフェスタに「世界と遊ぼう！」を出展(200名参加) ・3月19日「世界と遊ぼう！第2弾」開催(小学生と保護者43名、外国人11名参加)	今後、企画運営への外国人市民の積極的な参画をさらに促すことで、日本人市民と外国人市民の相互交流、相互理解の促進に寄与し、誰もが暮らしやすい共生社会の実現につながるような取組を展開します。
29	区民祭開催経費	235,000	1,522,000	地域振興課	住みよいまちづくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月第2日曜日にあさお区民まつりを開催します。 41団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着しています。	しんゆりフェスティバル・マルシェとの同日開催を初めて実施し、感染症対策の一環として21ホールを特別会場として会場を広げ、地域団体の舞台出演や展示、屋内外で各種催しを実施しました。通年実施しているパレード、出店、野外と市民館舞台などの他に、第40回開催を記念してフードエリアにおけるキッチンカーの導入、ポスターデザインの募集など新たな事業を実施した他、区制40周年記念事業「あさおの未来を描く絵画展」と連携し、当日は約8万5千人の来場がありました。	令和5年度は市制100周年プレ事業、令和6年度は市制100周年記念事業と位置づけ、21ホールの舞台、キッチンカー販売、ポスターデザインの募集など令和4年度に新たに実施した内容を継続し、より魅力的なまつりの開催につなげます。
30	麻生区市民提案型協働事業	2,081,000	1,684,829	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定します。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業の経費の一部を負担して実施します。	令和4年度市民提案型協働事業として、次の5つの事業を選定し、提案団体と協働して実施しました。 ・ふらっとリビング ～多世代交流型居場所作り～ ・おか庭クラブ ・麻生区SDGs推進隊 ・岡上地域グリーンツーリズム 農福連携と情報発信 ・あさおホッププロジェクト！みんなでつくるグリーンカーテンのまち	提案事業が制度の枠組みから外れても団体が事業を自主財源で継続運営できるよう、団体の持続可能な運営への支援が引き続き必要であると考えられます。
31	町内会・自治会加入促進事業	705,000	707,800	地域振興課	麻生区町会連合会と協働し、町内会・自治会未加入者に対する町内会・自治会加入促進パンフレットを製作することにより、積極的に町内会・自治会への加入を促し、地域コミュニティの活性化を図ります。	令和3年度作成の「町会・自治会ガイドブック」の内容を改訂した上で発行し、麻生区転入者が区役所での転入手続きの際に受け取るウェルカムセットの一つとして配布し、町内会・自治会への加入を呼びかけました。	町内会・自治会への支援の観点からも、町内会・自治会の加入率を維持していくことは重要であり、掲載内容を適宜検討し、見直しを行った上で毎年継続して実施していきます。
32	スポーツのまち麻生推進事業	2,271,000	2,260,528	地域振興課	「川崎フロンターレ麻生グラウンド」を始めとした、区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業の実施や、区内のスポーツ関係団体で構成される「スポーツのまち麻生推進会議」の運営、さらに区民が自主的に行うスポーツ大会の支援、スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツのまちづくり事業、ユニバーサルスーツ活動の支援事業などを通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進します。	・あさおスポーツフェスティバル・申請予定17大会中16大会が申請 ・スポーツ・健康ロード等活用事業ではボールウォーキング等を10回実施し、計212名が参加 ・アシストクラブ主催応援ツアーは2回開催し202名が参加【感染症の影響により青玄まつりは開催中止】	かわさきパラムーブメント推進ビジョンの策定に伴うパラムーブメントの全庁的な取組の推進及び第2期川崎市スポーツ推進計画の策定を受けて、障害者と健常者が共に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの更なる取組を推進する必要があります。

7 地域課題対応事業その他事業

33	事務費等共通経費	1,148,000	1,007,572	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品意等を確保します。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入しました。また、郵便料、複写品費等を適正に執行しました。	需用費等について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。
----	----------	-----------	-----------	-----	--	---	---

8 区役所サービス向上事業

34	区役所窓口等サービス充実改善事業	1,418,000	1,310,456	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの効率的・効果的かつ総合的な提供を行い、市民の視点に立った区役所サービスの充実を図ります。	・混雑期に窓口案内等を設置し、適切な案内、誘導を行いました。 ・職員の接遇能力等の向上のため、接遇研修、チーム力向上研修、認知症サポーター養成講座を実施しました。 ・便利で快適な区役所サービスを提供するため、貸出フロアガイドを作成しました。また中庭整備の完成に伴い、待ち時間の中庭利用を促進するため、お披露目会を活用し区民への周知を行いました。 ・窓口や待合スペース及び事務室内において、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染の拡大防止に努めました。 ・オリジナル婚姻届を増刷し、引き続き配布を行いました。さらに記念撮影コーナーをリニューアルしました。	市民の視点に立ったサービス向上のため、社会環境の変化への柔軟な対応や、市民ニーズの把握を常に行い、見直し・改善の上、継続して取り組む必要があります。
35	区政・地域情報提供事業	388,000	323,400	企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行います。	区役所職員向けに広報研修としてホームページ作成スキル向上研修を開催し、ホームページ製作者と閲覧者による視点の違い等に関する講義や伝わりやすいホームページをテーマにグループワークを行い、職員の広報に対する意識の醸成と技術力の向上を図りました。	ホームページや様々な媒体における広報技術の向上等、次年度以降も関係課と連携して、広報広聴の充実を図って実施していきます。

9 区の新たな課題即応事業

36	区の新たな課題即応事業	5,000,000	3,719,574	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施します。	・区政情報等の発信に係る広報機器の購入 ・白山中学校跡地施設体育館劣化調査対応緊急補修工事 ・区役所施設等に係る安全管理対策事業(防犯カメラの設置)	引き続き、次年度も年度途中に区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応で事業を実施していきます。
----	-------------	-----------	-----------	-----	---	--	--